

## 野生動物学詳論 (2 単位)

担当者氏名 小川 博・佐々木剛・松林尚志

## ◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

野生動物の存在がいかに人間生活を豊かにすることに貢献しているかを理解するため、野生動物の多様性を地球的視野で理解して保全することの重要性、野生動物が人の生活や経済活動に与える負の側面、すべての家畜の祖先である野生動物の資源としての重要性について講義を展開する。具体的には野生動物学の範囲、野生動物の多様性、資源としての野生動物の活用、野生動物保全および野生動物行動管理等について講義を展開する。本講義によって野生動物学の体系に則った思考能力を身につけることを目標とする。

## ◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

<u>野生動物</u>	<u>哺乳類</u>	<u>鳥類</u>	<u>多様性</u>
<u>生息域内保全</u>	<u>生息域外保全</u>	<u>資源</u>	<u>野生動物管理</u>

## ◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	野生動物学の範囲	野生動物学に関わる学問領域や研究領域について	◎本授業では野生動物の多様な生態と生理を学ぶとともに、人の生活との関わりについて、さまざまな側面から考えることから、講義の内容について事前に調べておくこと◎事前の学習により調べた内容を発表する。講義後、他者の発表内容について復習すること
2	資源としての野生動物	動物資源としていかに人の生活を豊かにしているか	
3	鳥類の繁殖戦略(1)	鳥類の優れた色覚、羽装と性選択	
4	鳥類の繁殖戦略(2)	鳥類の性的二型	
5	進化と多様化	動物の多様性はいかにして生まれたか	
6	系統進化と多様性	多様性の体系的理解を目指す系統分類学の意義	
7	多様化の分子機構	新規形態獲得の分子メカニズムについて	
8	野生動物保全(1)	鳥類における生殖の特徴	
9	野生動物保全(2)	鳥類の保全に関わる生殖技術	
10	野生動物保全(3)	教育、エコリズム、環境指標等新たな資源価値について	
11	野生動物保全(4)	生息域内保全の具体例、生息域外保全の具体例	
12	野生動物の管理(1)	野生動物管理の組織・法制度と、その諸問題	
13	野生動物の管理(2)	獣害・外来種対策の実際と諸問題	
14	野生動物の管理(3)	飼育環境エンリッチメント等の動物園展示法の改善	
15	総括	総括	

## ◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名/著者/発行所 (発行年)

## ◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名/著者/発行所 (発行年)

バイオセラピー学入門/林良博・山口裕文編著/講談社(2012)

## ◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

課題への対応状況により評価する

## ◆オフィスアワー

毎週月曜日と火曜日の2限に研究室で質問等を受け付ける。

## ◆その他受講上の注意事項